

授業科目 栄養教育論 I

【担当教員名】 斎藤トシ子	対象学年	2	対象学科	栄養
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【一般目標：G I O】

健康・栄養状態、食行動、食環境等に関する情報を収集・分析し、それらを総合的に評価・判定する方法を学ぶ。さらに、個人及び小集団への栄養教育プログラムの作成・実施・評価の総合的なマネジメントに必要な理論と方法を学ぶ。

【行動目標：S B O】

1. 栄養教育の意義・歴史・法規を説明できる。
2. 栄養教育の一般原則（教育形態、教育手順等）を説明できる。
3. 栄養アセスメントの目的、意義、内容、方法を説明できる。
4. 栄養教育計画立案の基本が理解できる。
5. 栄養教育の手法（ヘルスカウンセリング、行動変容理論）を説明することができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題
1	栄養教育の意義、歴史、法規	1.	講義
2	栄養教育の一般原則（教育形態の種類、教育の場・対象、学習形態、教育の手順）	2.	講義
3	栄養アセスメントの目的・意義、栄養アセスメントの種類、身体計測	3.	講義
4	栄養アセスメント（食事調査）	3.	講義
5	栄養アセスメント（生理・生化学検査、臨床診査）	3.	講義
6	栄養アセスメント（ADL, QOL, ココロ・アホレ依存度、その他調査）、問題点の抽出と明確化	3.	講義
7	情報の収集の方法	3.	講義
8	栄養教育計画立案の基本（目標の設定、評価方法、カリキュラム編成）	4.	講義
9	栄養教育計画立案の基本（目標の設定、評価方法、カリキュラム編成）	4.	講義
10	栄養教育の手法（ヘルスガイダンスとヘルスカウンセリング、カウンセラーの基本態度）	5.	講義
11	栄養教育の手法（カウンセリングの基本）	5.	VTR
12	栄養教育の手法（行動科学の理論）	5.	講義
13	栄養教育の手法（行動科学の理論）	5.	講義
14	栄養教育の手法（行動科学の理論）	5.	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	栄養教育論（出版社未定）			
参考書	食事調査のすべて—栄養疫学—	田中平三 訳	第一出版	最新版
	食事評価マニュアル	徳留信寛 監訳	医歯薬出版	1998年 ¥2,500+税
	健康行動理論実践編	松本千明著	医歯薬出版社	2003年 ¥2,600+税
	最新行動科学からみた健康と病気	宗像恒次	メヂカルフレンド社	2002年 ¥3,107+税
	ライフスタイル療法第2版	足達淑子	医歯薬出版	2003年 ¥2,600+税
その他の資料	必要に応じてプリントを配布			

【評価方法】

出席状況、授業中の態度、課題発表、定期試験から総合的に評価する。

【履修上の留意点】